

【部課名：市民生活部市民協働推進課】

事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み	
市民協働推進事業		市民が主体的に活躍できるまちをめざし、泉大津市参画及び協働の推進に関する条例に基づき、市民の意見を市政に反映させる機会の充実を図るとともに、市民と行政による協働のまちづくりを推進する。		指標	総計の現状値	R6実績値	参画と協働のまちづくり推進会議において、本市の参画及び協働事業の進捗状況を報告し、事業のあり方や進め方等さまざまな観点から意見をいただき、今後の各種事業を進めていくうえでの参考とすると共に、市のホームページで公開し団体や市民へも周知することができた。	より多くの市民が市政に参画し、協働によるまちづくりを推進する必要がある。本事業での取り組みをはじめ、ホームページやSNS、広報紙などを活用した市の取り組みの周知や、各事業における市民の参画機会を充実させることで、参画と協働によるまちづくりを促進する。	
総合計画の位置づけ		参画と協働のまちづくり推進会議の開催を通じて、市民の市政参画及び市民と行政による協働のまちづくりを推進する。		市内公益活動団体及び個人登録数	231件	271件			
基本目標	みんなが互いに繋がり理解し共感しあうことで新たな刺激が生まれるまち	事業費（うち市負担額）【千円】		市民活動支援センター「おづぶらざ」の利用者数	3,361人	6,056人			
個別目標	繋がりあい支えあい新たな刺激が生まれることでみんなが主体的に地域課題を解決できるまち	R5決算額	115	(115)					
個別目標の方向性	誰もが市民活動に参画しやすい環境づくりと次世代につなぐ担い手の育成を目指します	R6決算見込額	107	(107)			誰もが市民活動に参画しやすい環境づくりと次世代につなぐ担い手の育成を目指します	個別目標の方向性	
R7予算額	213	(213)							
事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み	
市民公益活動支援事業		市民が主体的に活躍できるまちをめざし、市民公益活動団体が自発的に行う公益的な事業に対して補助金の交付等を行うことにより、まちづくりの担い手となる団体の育成・支援を図ると共に、地域コミュニティの活性化を促進する。		指標	総計の現状値	R6実績値	がんばる市民公益活動応援補助金等を交付することにより、幅広い市民公益活動団体の活動が活性化されると共に、団体の自立促進や人材育成につながる支援を行うことができた。令和6年度のがんばる市民公益活動応援補助金の交付実績は14団体で、前年度（令和5年度：12団体）から2団体増加した。	運営基盤の強化に向けた支援など、団体が継続的に市民公益活動に取り組めるよう支援していく必要がある。	
総合計画の位置づけ		事業費（うち市負担額）【千円】		市内公益活動団体及び個人登録数	231件	271件			
基本目標	みんなが互いに繋がり理解し共感しあうことで新たな刺激が生まれるまち	R5決算額	3,126	(1,563)	市民活動支援センター「おづぶらざ」の利用者数	3,361人	6,056人		
個別目標	繋がりあい支えあい新たな刺激が生まれることでみんなが主体的に地域課題を解決できるまち	R6決算見込額	3,030	(1,515)					
個別目標の方向性	誰もが市民活動に参画しやすい環境づくりと次世代につなぐ担い手の育成を目指します	R7予算額	4,393	(2,197)					
事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み	
市民活動支援センター運営事業		市民の自主的で営利を目的としない公益性のある活動を支援し、市民と行政との協働のまちづくりを推進するため、市民活動支援センター「おづぶらざ」を設置・運営する。		指標	総計の現状値	R6実績値	市民活動支援センター施設利用登録数は、令和6年度末時点で271（団体：238、個人：33、累計）、施設利用人数は延べ6,056名となり年々利用は増加し、団体間の繋がりも広がっている。市民活動支援センター「おづぶらざ」において、公益活動を支援し、団体間を繋ぐことで、本市における市民公益活動の促進と協働のまちづくりを推進することができた。	より多くの団体に施設を活用してもらえるよう、施設の認知度向上を図ると共に、団体間のネットワーク形成や運営基盤の強化に向けた支援に取り組む必要がある。	
総合計画の位置づけ		事業費（うち市負担額）【千円】		市内公益活動団体及び個人登録数	231件	271件			
基本目標	みんなが互いに繋がり理解し共感しあうことで新たな刺激が生まれるまち	R5決算額	10,064	(8,564)	市民活動支援センター「おづぶらざ」の利用者数	3,361人	6,056人		
個別目標	繋がりあい支えあい新たな刺激が生まれることでみんなが主体的に地域課題を解決できるまち	R6決算見込額	10,354	(8,854)					
個別目標の方向性	誰もが市民活動に参画しやすい環境づくりと次世代につなぐ担い手の育成を目指します	R7予算額	12,244	(10,744)					

事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
NPO等指定寄附金交付事業		地域の課題や社会的な課題の解決を図るため、NPO等が行う公益的な取り組みについて、クラウドファンディング型ふるさと納税を活用し、資金調達を支援する。			指標	総計の現状値	R6実績値	令和6年度は実際の活用には至らなかったものの、令和5年度の活用事例をホームページや広報紙で紹介することで、制度の活用イメージを持ちやすいよう工夫すると共に、市民公益活動支援センター「おづぶらざ」と連携し、制度の周知や相談対応を行うことで、クラウドファンディングが、団体にとって資金調達の円滑化・多様化を図るためにひとつ手段として認知してもらうことができた。「おづぶらざ」における団体・個人の登録数や利用者数についても、着実に増加している。
総合計画の位置づけ				市内公益活動団体及び個人登録数	231件	271件		
基本目標	みんなが互いに繋がり理解し共感しあうことで新たな刺激が生まれるまち	市民活動支援センター「おづぶらざ」の利用者数			3,361人	6,056人	団体にとっては資金調達の円滑化・多様化を図る手段になると共に、寄附者にとっても税控除を受けられる等のメリットがあるが、制度の認知度が十分ではない。また、広く寄附金を募ることから、事業規模が大きくなる傾向にあるが、運営基盤が整っていない団体の場合には、制度の活用に至らないことがある。	
個別目標	繋がりあい支えあい新たな刺激が生まれることでみんなが主体的に地域課題を解決できるまち				活用事例を含めた制度の周知をはじめ、「おづぶらざ」と連携し、団体の運営基盤強化に向けた支援を行うなど、本制度の活用を促進し、市民公益活動の一層の活性化をめざす。			
個別目標の方向性	誰もが市民活動に参画しやすい環境づくりと次世代につなぐ担い手の育成を目指します	事業費（うち市負担額）【千円】	R5決算額	488	(12)			
		R6決算見込額	1	(1)				
		R7予算額	2,173	(86)				
事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
防犯対策事業		犯罪を未然に防ぎ、安心して暮らせるまちをめざし、市民、警察、団体、行政などが連携して地域の防犯活動を推進する。			指標	総計の現状値	R6実績値	防犯活動団体に補助金を交付することで団体が行う様々な防犯活動を支援した。自治会に対して防犯灯や防犯カメラの設置・維持管理費用を補助することで、防犯のための環境整備を促進した。防犯灯については、令和6年度に補助率を1/2から2/3に拡充した。防犯カメラについては、令和6年度は14自治会、26台の助成を行い、補助金を創設した平成27年度から延べ241台の設置を支援した。ながら見守り活動の登録者数は、令和6年度末で、80名（個人：72名、団体：1団体(8名)）となった。市内の刑法犯罪の認知件数は、前年度と比べて低下しており、これらの取り組みが犯罪抑制に寄与したと考えられる。
総合計画の位置づけ				市内における刑法犯罪の認知件数	645件	597件		
基本目標	安全・安心を一人ひとりが考えみんなでつくりあげるまち	犯罪にあわないために防犯対策をしている市民の割合			52.1%	51.9%		
個別目標	犯罪や消費者トラブルによる不安のない人の陽を感じられるまち							
個別目標の方向性	市民一人ひとりの防犯意識の向上と地域防犯のための環境整備や活動を促進します	事業費（うち市負担額）【千円】	R5決算額	8,640	(7,518)			
		R6決算見込額	12,555	(9,371)				
		R7予算額	14,313	(11,303)				
事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
自治会活動助成事業		市民が主体に活躍できるまちをめざし、地域コミュニティの基礎となる自治会に対し支援を行うことにより、地域コミュニティの活性化を図り、地域がつながるまちづくりを促進する。			指標	総計の現状値	R6実績値	泉大津市自治会連合会の活動に対し補助金を交付することで、地域コミュニティの中心的な役割を担う自治会活動を支援した。また、同連合会等と連携し、自治会加入促進に向けた事業や自治会DXの推進、校区まちづくり協議会の設立向けた研修会など、地域コミュニティの活性化に取り組んだ。
総合計画の位置づけ				地域活動やボランティア活動への参加者が増えたと思う市民の割合	35.4%	34.4%		
基本目標	みんなが互いに繋がり理解し共感しあうことで新たな刺激が生まれるまち	自治会等地域団体のデジタル推進に向けた取組件数（累計）			30件	51件		
個別目標	繋がりあい支えあい新たな刺激が生まれることでみんなが主体的に地域課題を解決できるまち							
個別目標の方向性	地域の課題解決に向けて多様な主体との協働によるまちづくりを進めます	事業費（うち市負担額）【千円】	R5決算額	8,165	(7,107)			
		R6決算見込額	6,217	(5,690)				
		R7予算額	8,118	(6,835)				